



知床科学委員会 しんぶん

知床世界自然遺産地域 科学委員会 NO. 6



「知床で今何が起きているの!?!」「どんな調査が行われているの!?!」など、タイムリーな情報をお伝えします。

科学委員会って?

科学委員会は、様々な分野の専門家が集まり、知床世界自然遺産のよりよい保安全管理のためのアドバイスをする組織です。科学委員会の下には、分野ごとに4つの関連会議が設置されています。

今回の会議

2月27日(木)に、北海道大学学術交流会館(札幌市)にて、今年度第2回目の会議がありました。

必見!
TOPIC

科学委員会が緊急声明を出しました!

～岩尾別川のカメラマンによるヒグマの「人なれ」の危険性について～

世界遺産地域を流れる岩尾別川で、カメラマン等がヒグマに接近しすぎている危険な状況に対し、平成25年10月18日、知床世界自然遺産地域科学委員会は緊急声明を出しました。

声明では、ヒグマへの接近や餌やりが「人なれ」につながり人身事故を引き起こす可能性があることを訴え、関係者が協力して人身事故を防ぐための対策を行うことを求めています。

これを受け、関係機関は平成26年度のヒグマ出没シーズンに向けて、対策の検討を始めています。



岩尾別川周辺でヒグマを取り囲むカメラマン



「人なれ」って
どうして危険なの?

カメラマン等が接近を繰り返すと、ヒグマは次第に人を怖がらなくなり、餌付けをされやすくなります。人から餌付けを受けると、ヒグマは人がエサを持っていると学習し、人を攻撃する可能性があります。実

際にアメリカの国立公園では、「人なれ」した後に餌付けされたクマに若い女性が殺される事故が起きています。既に知床には、写真のように「人なれ」したヒグマが現れています。